



ヘンティ県・ボルガン県での活動報告

8月27日から30日にかけて、ヘンティ県とボルガン県で養蜂指導や関係者との協議を行いました。

8月27日と28日はヘンティ県ビンデルソムを訪問し、ソム長および人民会議長を表敬訪問した後、養蜂家17名を対象に、秋の飼育と越冬準備の指導を行いました。そのあと訪問した養蜂家リーダーの蜂場では、ミツバチの衛生環境やハチミツの品質を改善するための独自の工夫がなされており（下記写真参照）、こうした事例はプロジェクトの手引書でも紹介したいと考えています。



（左）蜜の入った巣枠を採蜜場所まで運ぶための木箱。ミツバチや異物が入らないよう、蓋ができるようになっている。（右）蜂場近くに設置された穴掘型のトイレ。ミツバチの水場にならないよう、穴を浅くし、その都度土をかけられるようになっている。

8月30日には、ボルガン県職業訓練学校を訪問し、昨年4月に開設された養蜂コースのカリキュラム改訂に関する協議と、教員の方々への飼育指導を行いました。



（上）カリキュラム改訂に関する協議。（下）飼育指導の様子。巣礎の張り方も実演した。

プロジェクトでは、モンゴルの養蜂振興のための手引書の作成に取り組んでいます。手引書は、各地域での指導から得られたフィードバックを反映させて改訂を重ね、最終化していきます。

養蜂業務指針をご存知ですか

「養蜂業における衛生管理及び獣医業務のための一般指針」（養蜂業務指針：General Guideline for Veterinary Services and Hygiene Requirements to Be Implemented in Bee Farms）が、2020年4月29日付でモンゴル獣医庁長官令として発行されました。

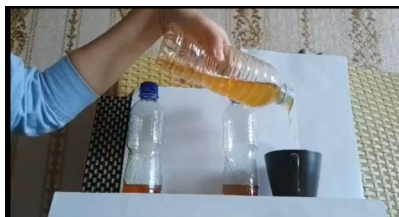
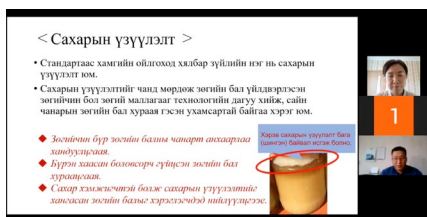
この指針は、蜂群飼育における病害虫防除を含む衛生管理および養蜂生産物（蜂蜜）の品質保証・安全確保に関して、養蜂家、民間獣医および郡獣医の責任の範囲を定めるものです。養蜂家は民間獣医と契約して、民間獣医から衛生管理等の監督・支援を受け、郡の獣医がさらにその活動をモニターします。この方式は、本プロジェクトのフェーズ1で導入したもので、方針作成に当たっても、案文の作成や様式の提供など全面的に協力しました。

プロジェクトでは、本指針の下で養蜂の生産工程管理が全国的に広がるよう、養蜂家と獣医の契約を推進しています。指針の全文は以下よりご覧いただけます。

<https://www.facebook.com/107843977265085/posts/614387249944086/?d=n>

第21回オンラインセミナーを配信しました

8月31日に、第21回オンラインセミナーをFacebookで配信しました。今回は「ハチミツの話」と題して、消費者の皆さんに、ハチミツの特徴や魅力、品質の見分け方について紹介しています。糖度の高いハチミツと低いハチミツを見分ける方法も動画で紹介していますので、ぜひご覧ください。



プロジェクトFacebook：

www.facebook.com/BeeDep-MONGOL-2-107843977265085/?modal=admin_todo_tour

オンラインセミナー配信中！

